

高校3年生 日大進学文系日本史演習 年間指導計画表

教科目(単位数)	日大進学文系日本史演習(3単位)
年間目標	基礎学力到達度テストに対応できる学力の養成をめざす。従って、演習の範囲は古代から江戸時代終了(幕末を除く)までを先ず第一とする。基礎学力到達度テスト終了後は近現代期の問題演習を行う。
使用教科書	山川出版社『詳説 日本史B』
使用補助教材	担当者作成プリント、浜島書店『要点整理 ゼミナール 日本史』、帝国書院『図説 日本史通覧』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	古代～中世(鎌倉時代前半)	日本文化のあけぼの 律令国家の形成 貴族政治と国風文化 中世社会の成長(3武士の社会まで) (『ゼミナール日本史』1～11)	問題演習を通じて知識の確認と習得および実践力の養成を主眼とする。
	後 半	中世(鎌倉時代後半)～近世	中世社会の成長(4蒙古襲来から) 武家社会の成長 幕藩体制の確立 幕藩体制の展開 幕藩体制の動揺 (『ゼミナール日本史』12～25)	問題演習を通じて知識の確認と習得および実践力の養成を主眼とする。
2 学 期	前 半	総復習 到達度テスト後 近現代	 近代国家の成立 (『ゼミナール日本史』26～28)	問題演習を通じて知識の確認と習得および実践力の養成を主眼とする。
	後 半	近現代	近代国家の成立 (『ゼミナール日本史』29～33)	問題演習を通じて、日大進学に向けて近現代期の基本的な知識の習得を目指す。
3 学 期				

評価方法	定期試験・課題プリント・ノートに平常点を加え、評価する。
------	------------------------------

学習方法	授業では、補助教材『要点整理 ゼミナール 日本史』を使って学習する。また、放課後補講・夏期講習を適宜行う。
------	---

注意事項	1授業につき1単元ずつノートに問題を解いてくること。予習の際は教科書を見ながらでかまわない。授業はその解説となる。授業が終わったら必ず問題を解きなおすこと。できるようになるまで何回も解きなおすこと。その際、授業で補足されたことを合わせて確認しておくこと。さらに、自分でも教科書等で調べたことなどを適宜補足して勉強すること。
------	---

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	補助教材『要点整理 ゼミナール 日本史』(浜島書店)の該当箇所を適宜指示。
-------------------------------	---------------------------------------